

9月景況感・ニーズ調査結果と景況感分析

＜9月の景況感・ニーズ調査の結果の抜粋と調査結果を受けてD I 値等による景況感分析＞

平成22年10月8日

なかつがわ全市緊急経済対策本部

＜9月景況感・ニーズ調査＞

- ・前年同期と比べた場合では、従業員の過剰感がほぼ横ばいで、他の項目は悪化傾向となり、景気が回復する中で一時的な中休み状態（踊り場入り）から、悪化傾向が見え始めました。
- ・6ヶ月先の見通しは、従業員の過剰感がほぼ横ばいを予想し、他の項目はエコカー補助の終了や円高の影響による不透明感から大幅な悪化を見込んでいます。
- ・行政への要望については、発注関係、雇用支援、農林業支援、減税などが多く要望されています。
- ・本部の取組みについては、肯定的なものが35件、否定的なものが13件という結果となりました。

＜D I 値を使った業種ごとの景況感分析＞

- ・農 林 業 猛暑の影響から少し持ち直しがみられますが、先行きは悪化を予想。
- ・建 設 業 引続き低水準でほぼ横ばい、先行きはさらに悪化を見込む。
- ・製 造 業 回復傾向を継続しながらやや悪化、先行きは不透明感から悪化を予想。
- ・運 輸 業 回復傾向を継続しながらほぼ横ばい、先行きも横ばいを予想。
- ・卸・小売業 売上が低下、採算性と資金繰りは低水準、先行きは大幅な悪化を見込む。
- ・サービス業 引続き低水準でほぼ横ばい、先行きは売上の低下を予想。

＜過去の調査との分析＞

全ての項目で前年3月以降順調に回復傾向を示していましたが、今年3月以降、踊り場入りの状態からエコカー補助の終了や円高の影響により悪化傾向が見え始め、先行きも不透明感から大幅な悪化傾向を予想しており、二番底への警戒が必要と思われます。

◎D I 値とは

日本銀行で発表している「主要(全国)企業短期経済観測調査」いわゆる「日銀短観」で使われている経済指数をディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)略して「D I 値」といいます。

「D I 値」は、単純に3つの選択肢、たとえば「良い」、「変わらない」、「悪い」を用意し、回答から%を求め「良い」の%から「悪い」の%を引いた指数(%ポイント)が0を境に0以上になれば景気回復、0以下になれば景気後退を示す方法です。

9月景況感・ニーズ調査結果

なかつがわ全市緊急経済対策本部事務局

○ 調査の概要

1 調査の目的

市内事業所の実態と動向を把握し、現在の経済危機が市内の事業所にどのような影響を及ぼしているか、さらに今後の状況はどのようになると予想されているのかを調査し、併せて行政への要望と現在までの取組みに対する意見等を調査し、今後の緊急経済対策の分析資料とするとともに取組みに対する検証の資料とすることを目的とする。

2 調査対象

市内の事業所のうちから、中津川商工会議所及び中津川北商工会において抽出された、389事業所と農林畜産業の景況感聞き取り調査団体を対象とした。

抽出数	中津川商工会議所	289	事業所
	中津川北商工会	100	事業所
	農林畜産業団体	35	事業所
	計	424	事業所

3 調査方法

アンケート方式
(調査用紙を郵送又はFAX送信して、FAXで回答)

4 調査期間

9月15日～10月6日(回答期限9月30日から延長)

5 調査項目

【景況感調査】

- 1) 受注(売上高)について { ①前年同期と比べて
②6ヶ月先の見通し
- 2) 採算性について { ①前年同期と比べて
②6ヶ月先の見通し
- 3) 従業員について { ①前年同期と比べて
②6ヶ月先の見通し
③平成22年春の採用予定
- 4) 資金繰りについて { ①前年同期と比べて
②6ヶ月先の見通し

【ニーズ調査】

- 5) 行政に望むもの
- 6) なかつがわ全市緊急経済対策本部の取組みについて

6 回答数

156件(10月6日回答分を含む)

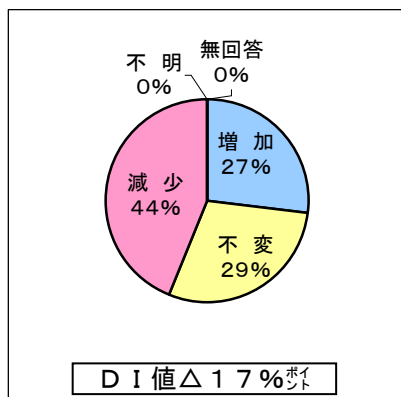
《業種別》		《地区別》	
農林業	27件	中津川	88件
建設業	27件	坂下・川上・山口	16件
製造業	39件	加子母・付知・福岡・蛭川	52件
運輸業	5件	計	156件
卸・小売業	29件		
サービス業	29件		
計	156件		

9月景況感調査結果

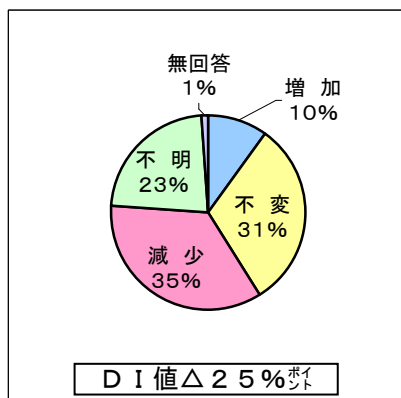
【景況感調査】

1) 受注(売上高)について

①前年同期と比べて

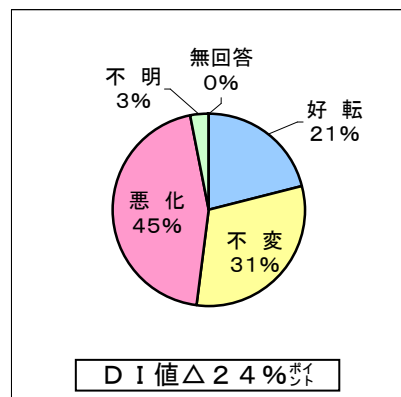


②6ヶ月先の見通し

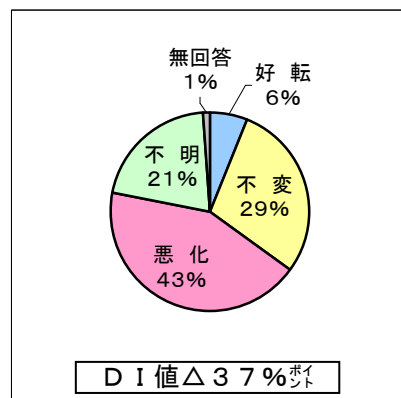


2) 採算(収益)性について

①前年同期と比べて

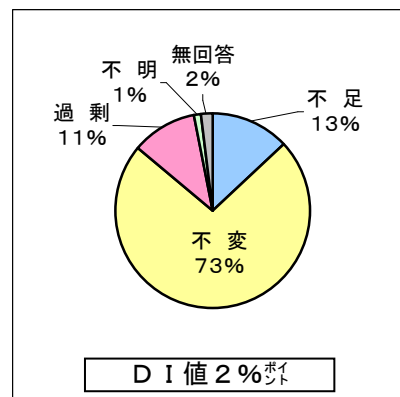


②6ヶ月先の見通し

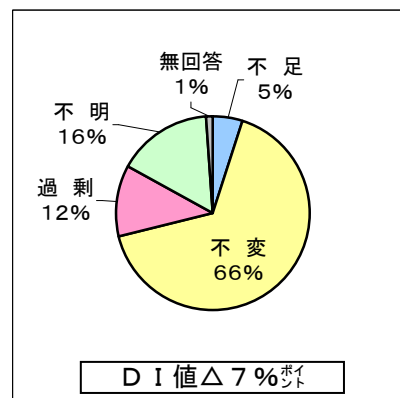


3) 従業員について

①前年同期と比べて

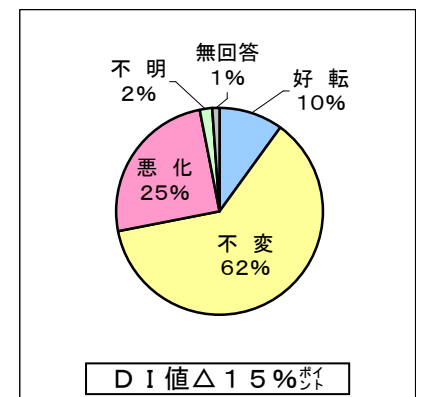


②6ヶ月先の見通し

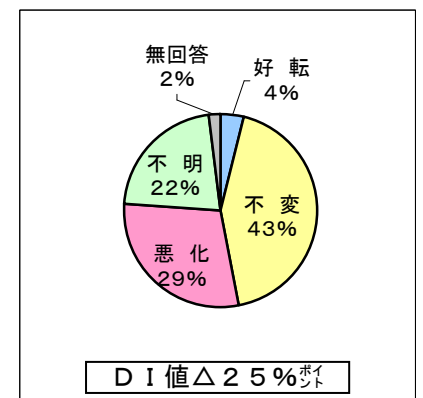


4) 資金繰りについて

①前年同期と比べて



②6ヶ月先の見通し



【ニーズ調査】

行政へ望むもの

・地元企業に優先的に工事や事業を発注してほしい。	17 件
・その他工事や事業の発注に関係するもの。	4 件
・雇用の安定や助成金などに関するもの。	8 件
・農林業政策の充実など農林畜産業支援に関するもの。	7 件
・各種税制での優遇や減免をしてほしい。	7 件
・地域などの活性化の推進に関するもの。	7 件
・設備投資や新規事業に補助してほしい。	4 件
・その他緊急経済対策としての支援や助成に関するもの。	3 件
・市政・国政全般に関するもの	17 件
・緊急経済対策に対して「要望なし」やその他の意見	4 件
計	78 件

なかつがわ全市緊急経済対策本部の取組みについて

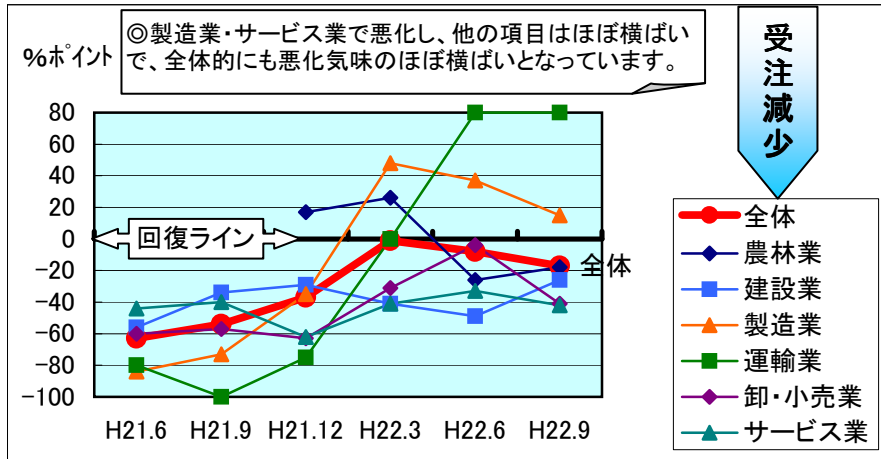
〔肯定的な意見〕	
・対策の継続や推進を期待する。	12 件
・良い事だと思う。	9 件
・とてもありがたい。	4 件
・その他「対策を評価する。」など	10 件
計	35 件

〔否定的な意見〕	
・対策が分からない。	4 件
・対策が感じられない。	3 件
・その他「効果が良くわからない。」や「対策は必要ない。」など	6 件
計	13 件

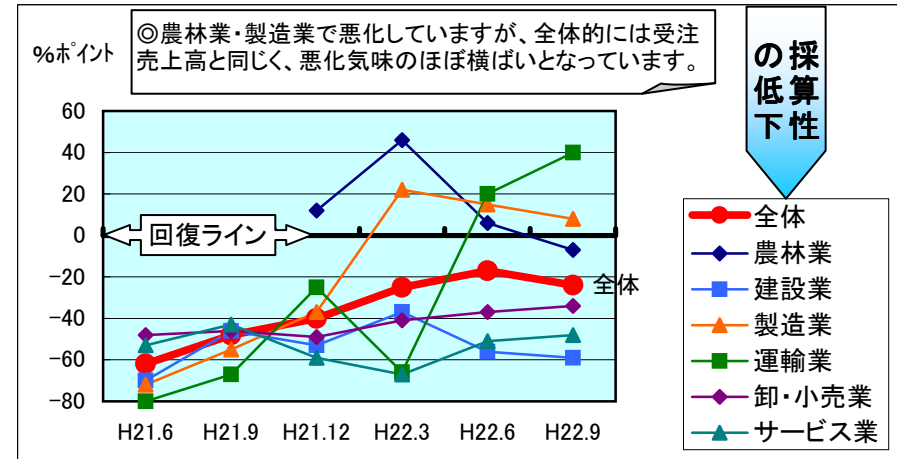
〔要望的な意見〕	
・雇用対策に関するもの。	3 件
・工事や事業の発注に関係するもの。	2 件
・その他経済の活性化や取引の支援などに関するもの。	8 件
計	13 件

全体に対する業種ごとのD I 値による分析 ～前年同期と比べて～

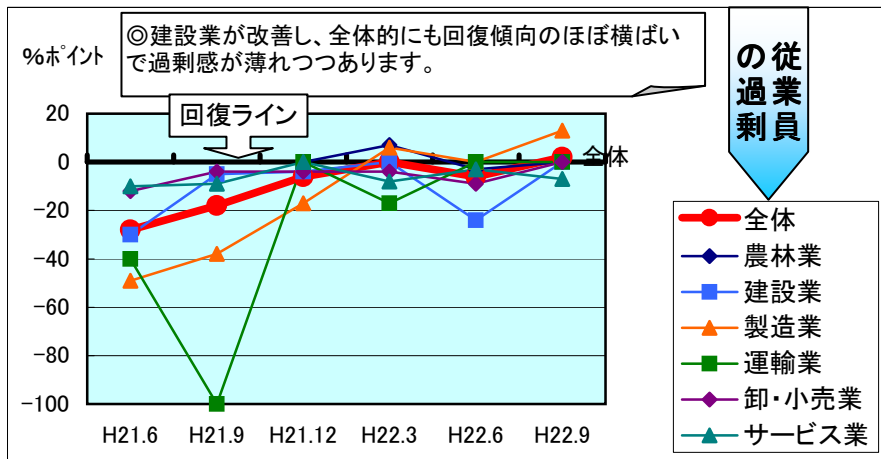
1) 受注 (売上高) について



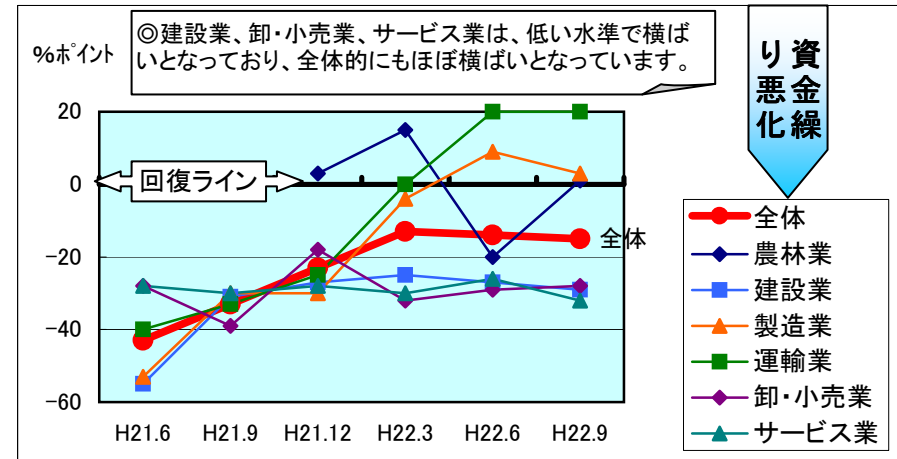
2) 採算 (収益) 性について



3) 従業員について

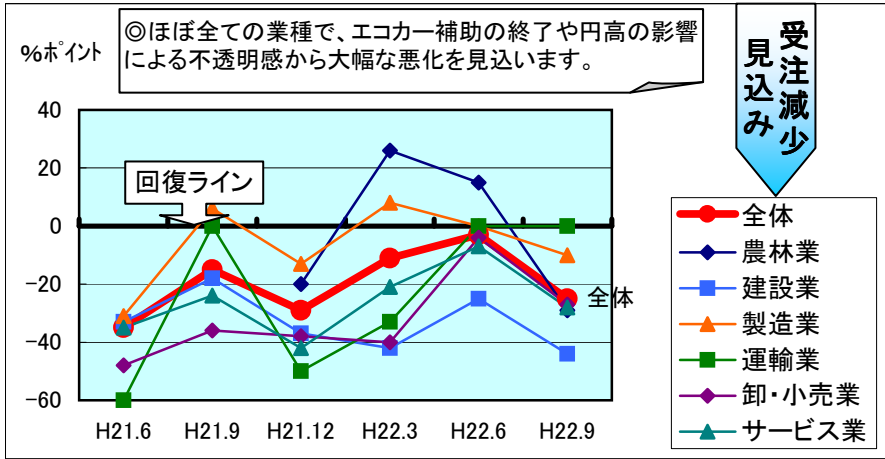


4) 資金繰りについて

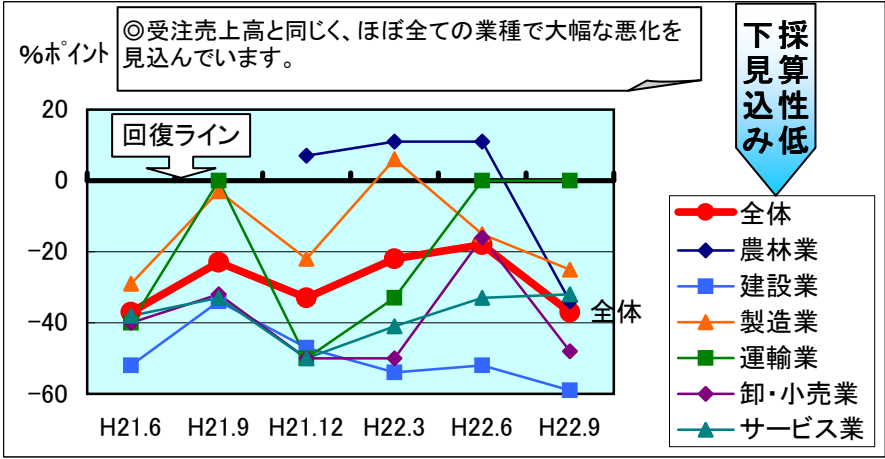


全体に対する業種ごとのD I 値による分析 ～6ヶ月先の見通し～

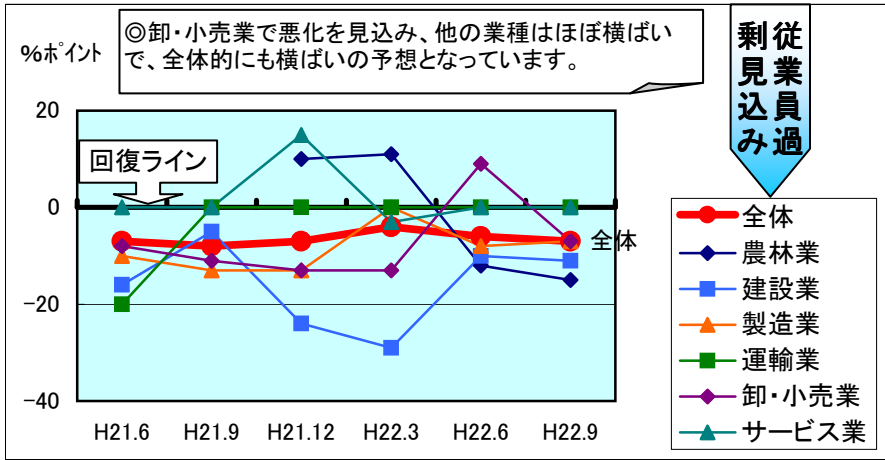
1) 受注 (売上高) について



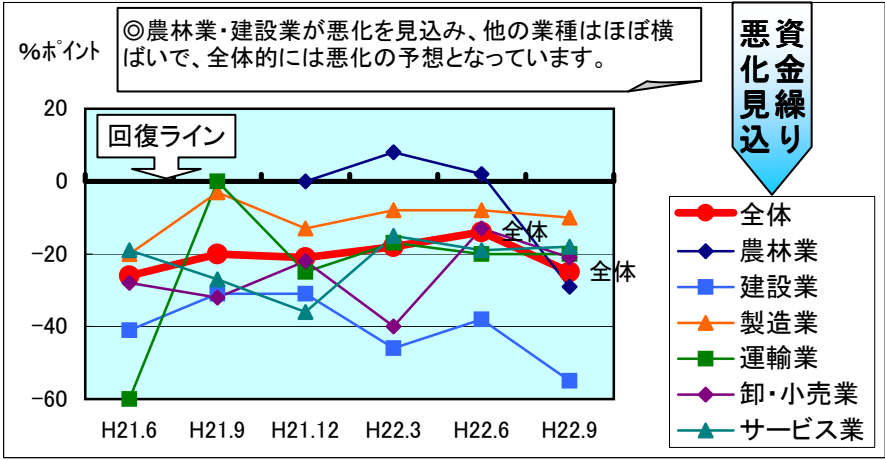
2) 採算 (収益) 性について



3) 従業員について



4) 資金繰りにについて

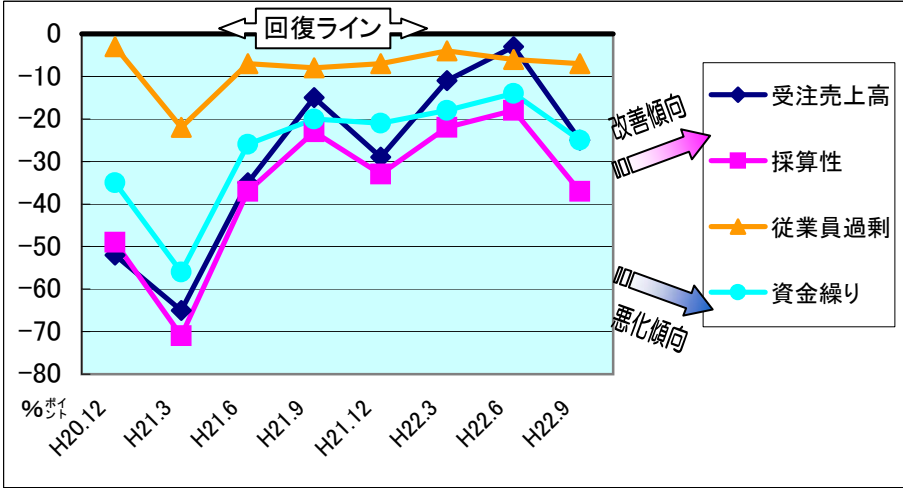
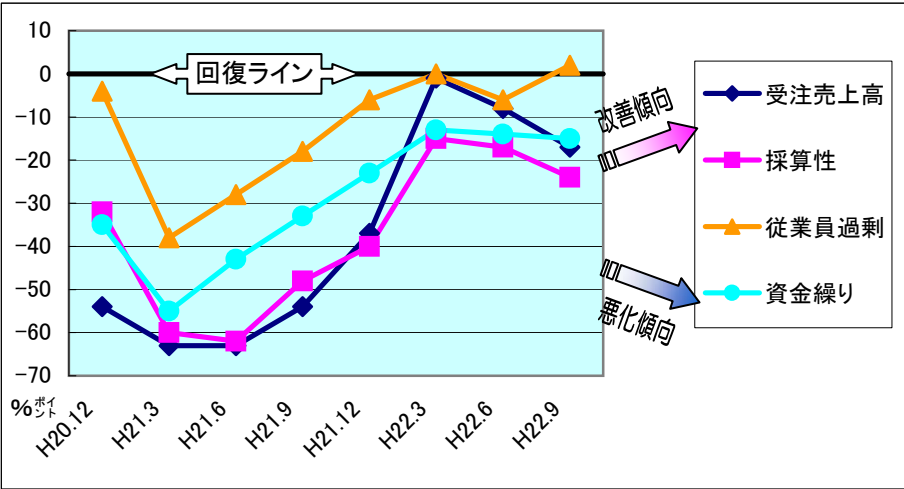


景況感調査のD I 値による分析（9月）

◎H20. 12月～H22. 6月の調査と比較して分析

設問 ①前年同期と比べて

設問 ②6ヶ月先の見通し



◎ 今年3月以降、景気が回復する中で一時的な中休み状態にありましたが、エコカー補助の終了や円高の影響により、受注売上高と採算性に悪化の兆しが見え始めました。

◎ 従業員の過剰感がほぼ横ばいを予想し、他の項目はエコカー補助の終了や円高の影響による不透明感から大幅な悪化を見込み、二番底への警戒が必要な予想となっています。

≪使用資料≫

- 会員実態・業況調査 (H20.9～12)
- 緊急経済アンケート調査 (H21.2～3)
- 景況感・ニーズ調査 (H21.6)
- 景況感・ニーズ調査 (H21.9)
- 景況感・ニーズ調査 (H21.12)
- 景況感・ニーズ調査 (H22.3)
- 景況感・ニーズ調査 (H22.6)
- 景況感・ニーズ調査 (H22.9)

- | | | | |
|----------|--------|---|--------|
| 中津川北商工会 | 1,172社 | ⇒ | H20.12 |
| 中津川商工会議所 | 100社 | ⇒ | H21.3 |
| 本部 | 159社 | ⇒ | H21.6 |
| 本部 | 150社 | ⇒ | H21.9 |
| 本部 | 222社 | ⇒ | H21.12 |
| 本部 | 167社 | ⇒ | H21.3 |
| 本部 | 167社 | ⇒ | H22.6 |
| 本部 | 156社 | ⇒ | H22.9 |